

プログラム  
発表者等紹介

## プログラム

### 第1セッション「『危機の20年』における軍事協力」

#### 発表

イアン・ジョンソン（ノートルダム大学准教授）

「『世界的破局への道』：ソ連—ドイツの協力和国際秩序の崩壊 1919-1941」

田嶋 信雄（成城大学法学部名誉教授）

「1930年代の日独軍事協力和中独軍事協力和」

藤井 元博（防衛研究所主任研究官）

「1940年代における中国の軍事建設と米国」

#### 特別講演

リチャード・オヴァリー（エクゼター大学名誉教授）

「1930年代の多国間関係と安全保障危機」

### 第2セッション「冷戦における紛争の国際化と軍事協力和」

#### 発表

松村 史紀（宇都宮大学准教授）

「中華人民共和国成立前後の中ソ協力和関係」

クリストファー・ゴージャ（ケベック大学教授）

「第一次インドシナ紛争における軍事協力和の国際化をめぐる考察」

小野沢 透（京都大学教授）

「米・イスラエル「同盟」再考：1960年代を中心として」

#### 総合討議

## 発表者等紹介

### 議長

立川 京一

現職：防衛研究所戦史研究センター長

略歴：博士（上智大学）

主要著書等：

『第二世界大戦とフランス領インドシナ：日仏協力の研究』（彩流社、2000年）；『戦争学原論』

### 発表者（敬称略、発表順）

イアン・オナ・ジョンソン

現職：ノートルダム大学歴史学部准教授

略歴：博士（オハイオ大学）

主要著書等：

*Faustian Bargain: The Soviet- German Partnership and the Origins of the Second World War* (Oxford University Press, 2021).

田嶋 信雄

現職：成城大学法学部名誉教授

略歴：博士（北海道大学）

主要著書等：

『ドイツ外交と東アジア 1890-1945』（千倉書房、2024年）；『ナチス・ドイツと中国国民政府一九三三―一九三七』（東京大学出版会、2013年）

藤井 元博

現職：防衛研究所主任研究官

略歴：修士（慶應義塾大学大学院修了）

主要著書等：

『日中終戦と戦後アジアへの展望』（共著、慶應義塾大学出版会、2017年）；『中華民国史研究の動向』（共著晃洋書房、2019年）

### リチャード・オヴァリー

現職：エクゼター大学名誉教授

略歴：博士（ケンブリッジ大学）

主要著書等：

*Blood and Ruins: The Great Imperial War, 1931-1945* (Allen Lane, 2021); *The Dictators: Hitler's Germany and Stalin's Russia* (Allen Lane, 2004); *Why the Allies Won* (Jonathan Cape, 1995)

### 松村 史紀

現職：宇都宮大学国際学部准教授

略歴：博士（早稲田大学）

主要著書等：

『「大国中国」の崩壊：マーシャル・ミッションからアジア冷戦へ』（勁草書房、2011年）；『ウクライナ戦争とグローバル・ガバナンス』（共著。芦書房、2024年）

### クリストファー・ゴーシャ

現職：ケベック大学歴史学部教授

略歴：博士（フランス高等研究実習院）

主要著書等：

*The Road to Dien bien Phu: A History of the First War for Vietnam* (Princeton University Press, 2022); *Vietnam – A New History* (Basic Books, 2016)

### 小野沢 透

現職：京都大学文学研究科教授

略歴：博士（京都大学）

主要著書等：

『幻の同盟 冷戦初期アメリカの中東政策』（上・下）（名古屋大学出版会、2016年）；『アメリカ史：世界史の中で考える』（共著、放送大学教育振興会、2024年）